

患者図書室“いきいきの森”だより

お月見

お月見をする十五夜は、「芋名月」とも呼ばれます。これは、十五夜がちょうど里芋の収穫時期とであり、お月さまに里芋をお供えたことに由来するそうです。芋名月の他にも、栗名月、豆名月があり、これらは十三夜を指します。十五夜のひと月後の十三夜の月は、やはり栗と枝豆の収穫時期に当たります。十五夜とならび十三夜もお月見をする習慣があり、片方だけのお月見は「片月見」として縁起が悪いとされていました。2018年の十五夜は9月24日、十三夜は10月21日です。今年は2回お月見をしてみたいはいかがでしょうか。

8月の貸出テーマランキング

1位 血液・リンパ

『白血病・悪性リンパ腫がわかる本』

『血液のがん：悪性リンパ腫と白血病』他

2位 糖尿病

『カーボカウントでよくわかる炭水化物量
ハンドブック』

『糖尿病食事療法のための食品交換表』他

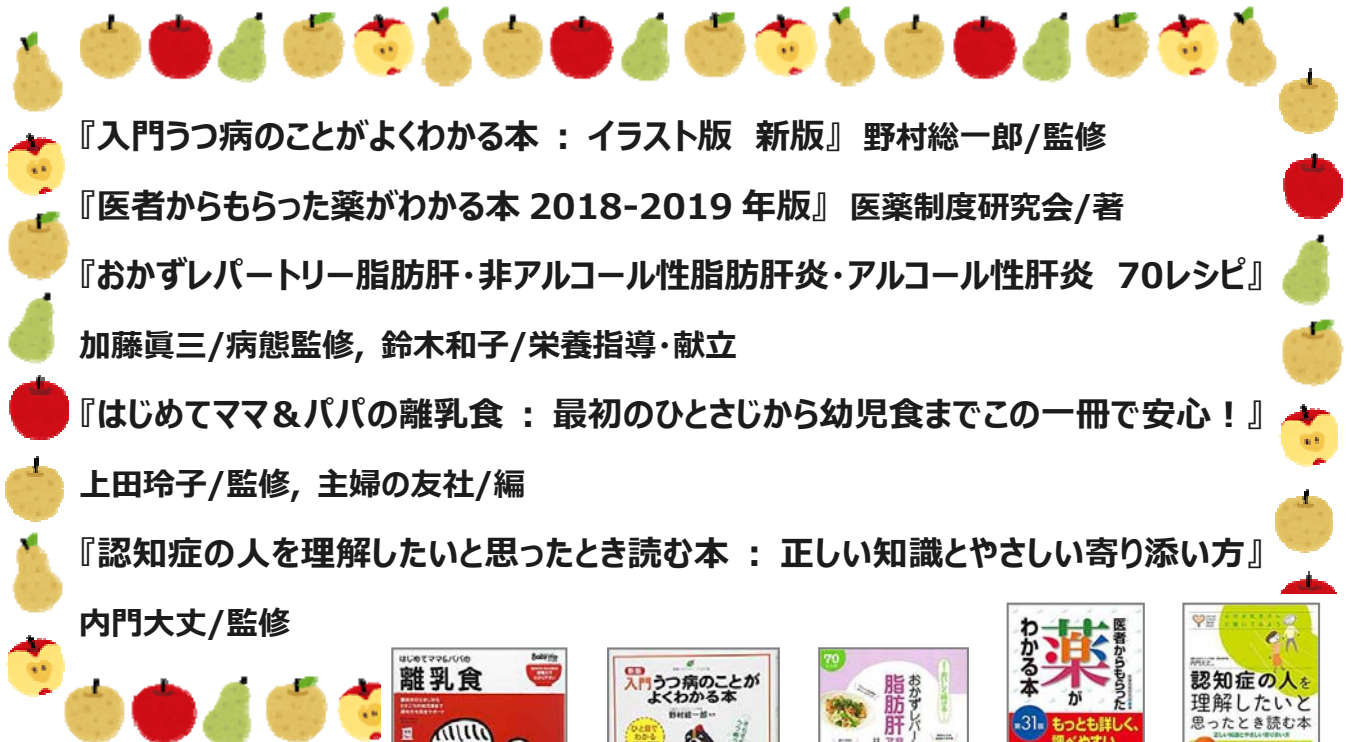
3位 絵本

『なみだくん ありがとう』他



図書の紹介

新しい本が5冊入りました！初版より33年の実績を持つロングセラー『医者からもらった薬がわかる本』も、最新版に買い換えました。より充実した内容に更新されていますので、是非ご覧下さい。



『入門うつ病のことがよくわかる本：イラスト版 新版』野村総一郎/監修

『医者からもらった薬がわかる本 2018-2019年版』医薬制度研究会/著

『おかずレパートリー 脂肪肝・非アルコール性脂肪肝炎・アルコール性肝炎 70レシピ』

加藤眞三/病態監修，鈴木和子/栄養指導・献立

『はじめてママ&パパの離乳食：最初のひとさじから幼児食までこの一冊で安心！』

上田玲子/監修，主婦の友社/編

『認知症の人を理解したいと思ったとき読む本：正しい知識とやさしい寄り添い方』

内門大丈/監修

